

2018 年度

日本フランス語フランス文学会 中国・四国支部大会
2018 年 12 月 2 日 (日)
開催校 広島大学

ご案内

2018 年度日本フランス語フランス文学会中国・四国支部大会を以下の要領で開催いたします。ご参加くださいますようご案内申し上げます。

会場

広島大学東千田総合校舎 S 棟
〒730-0053 広島県広島市中区東千田町 1 丁目 1-89

▶バスをご利用の方

JR 広島駅(広島市)からアルパーク方面行き
広島バス(50号(東西)線)
↓約 12 分、220 円
日赤前下車 徒歩約 2 分

市内電車をご利用の方

JR 広島駅(広島市)から紙屋町経由広島港行
広電(1号線)
↓約 30 分、180 円
日赤病院前下車 徒歩約 3 分

JR 横川駅(広島市)から

広電本社前行 広電(7号線)
↓約 25 分、180 円
日赤病院前下車 徒歩約 3 分

JR 西広島駅(広島市)から

紙屋町経由宇品二丁目/広島港行 広電(3号線)

↓約 30 分、180 円
日赤病院前下車 徒歩約 3 分

広島空港をご利用の方

広島空港(三原市) 広島空港リムジンバス
1. 広島駅新幹線口行き(時刻表)

↓約 45 分、1,340 円

JR 広島駅(広島市)

▶上記「バスをご利用の方」参照

2. 広島バスセンター行き(時刻表)

↓約 53 分、1,340 円

広島バスセンター(広島市)

↓徒歩 地下街「シャレオ」

広電「本通」電停

市内電車(広電 1, 3, 7 号線)

↓約 10 分、180 円

日赤病院前下車 徒歩約 3 分

添付の会場案内及びシンポジウムの広報もご参照ください。

△広島大学東千田キャンパスは駐車場スペースが限られているため、車でのご来場はできません。
公共の交通機関をご利用下さい。

懇親会について



懇親会会場

レストラン アイコ ジョヴァンニ
19時開始

広島県広島市東区光町 1-11-5
チサンマンション広島 1F
082-263-0161

JR 広島駅新幹線口から徒歩 5 分、
広島駅から 384m

大会費およびお問い合わせについて

大会費：1,000 円

支部会費：普通会员（ただし支部会のみ加入者）2,000 円

学生会員（ただし支部会のみ加入者）1,000 円

懇親会費：5,000 円（研究発表者・学生会員は 4,000 円）

連絡先：前日まで yas_edo@okayama-u.ac.jp（支部事務局・野呂）

当日は電話（082）542-7004（東千田地区支援室）

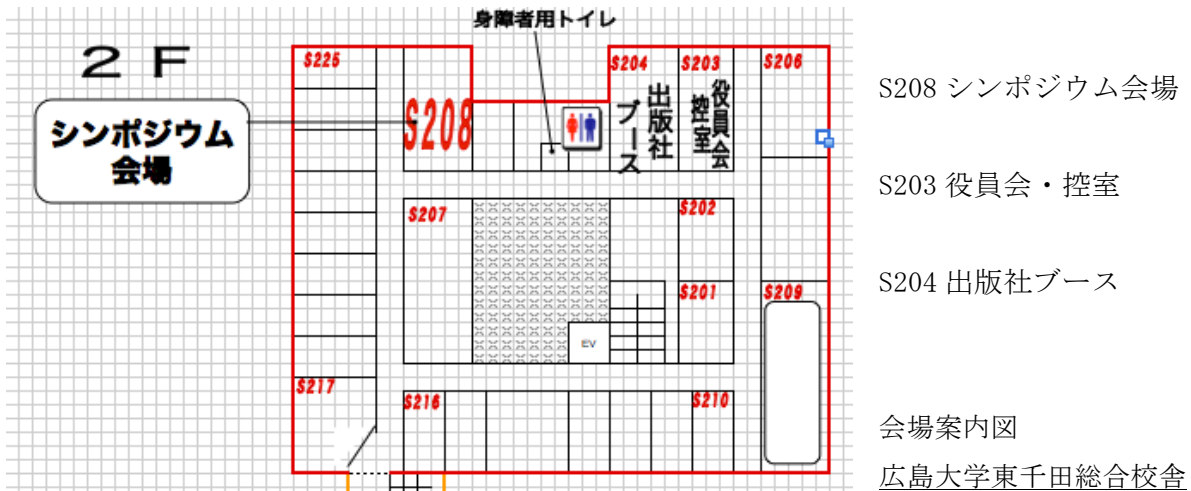
* 同封のご出欠の葉書を 11 月 16 日（金）までに必ずご投函ください。

* 欠席の場合は葉書の委任状にご署名ください。なお、お返事のない方は総会議長に一任したものと
して取り扱わせていただきますのでご了承ください。

プログラム

- 13時00分 役員会 (S203 教室)
- 13時15分 受付開始 (2階フロア)
- 13時45分 開会 (S203 教室)
- 13時50分 研究発表 (S203 教室)
司会 萩原直幸 (岡山大学)
平松英夫 (ノートルダム清心女子大学)
「フロベールの写実主義」
- 14時30分 総会 (S203 教室)
議長 井口容子 (広島大学)
- 協議事項 1. 2017年度活動報告ならびに2017年度会計報告
2. 2018年度活動報告ならびに2018年度会計中間報告
3. 役員改選 2019年度新規研究情報委員の選出
4. 支部機関誌の名称について (提案)
5. 来年度の支部大会における企画案の募集について
5. その他
- 報告事項 1. 学会報告, 委員会報告
2. その他
- ***
- 15時00分 シンポジウム (S208 講義室)
鈴木三重吉創刊『赤い鳥』とフランス語文学の移入と再話
司会 金澤忠信 (香川大学)
- 主催校挨拶 久保田啓一 (広島大学大学院教授, 同大学院文学研究科長)
- 15時05分 武藤清吾 (琉球大学教授) 『赤い鳥』とその時代」
- 15時35分 溝淵園子 (広島大学大学院教授) 『赤い鳥』と海外の作家」
- 16時05分 討議+質疑応答
- 16時25分 休憩
- 16時35分 東海麻衣子 (広島大学客員講師) 「文人たちの愛したフィリップ — 日本におけるシャルル＝ルイ・フィリップの受容について」
- 17時05分 宮川朗子 (広島大学大学院教授) 「児童雑誌の詩学 — アンドレ・リシュタンベルジェの作品を中心に」
- 17時25分 野呂 康 (岡山大学准教授) 「伝記記述と作家の生涯 — シラノ・ド・ベルジュラックの項目」
- 17時45分 討議+質疑応答
- 18時 終了
- 19時00分 懇親会

会場案内



登壇者紹介（登壇順）

武藤清吾（琉球大学教授）

専門は国語教育，日本近代文学で，芥川龍之介，日本児童文学史を中心に研究している。

業績：『芥川龍之介編『近代日本文芸読本』と「国語」教科書 教養実践の軌跡』（溪水社，2011）他。

溝渕園子（広島大学大学院教授）

専門は比較文学で，近現代の日本とロシア相互の文化表象や翻訳の問題を中心に研究している。

業績：「日露戦争期の少女雑誌における領域としての〈ロシア〉」（『文学部論叢』103号 2012年3月）他。

東海麻衣子（広島大学客員講師）

専門はフランス文学で，シャルル＝ルイ・フィリップを中心に研究している。

業績：「シャルル＝ルイ・フィリップ 『ビュビュ・ド・モンパルナス』における語り特性 一時制と話法の連携性一」（『フランス語フランス文学研究』112巻，2018年，p.81-94）他。

宮川朗子（広島大学大学院教授）

専門は19世紀フランス文学で，大衆小説と媒体の問題を主に研究している。

業績：《Place de littérature dans la presse de la Provence des années 1860 -le cas du Messenger de Provence (1861-1871)-》（『広島大学フランス文学研究』36号，2017年）他。

野呂 康（岡山大学准教授）

専門は17世紀フランス語文学で，論争文書，伝記や歴史などの記述の効用について研究している。

業績：『Une Vie à la trace Amable Bourzeis, écrivain(1606-1672)』(Classiques Garnier, 2018)他。